



一年(二学期)の中盤

今年度の学習 活動も中盤 となってきました。先月は体育大会、そして今月も明後日には校内音楽会と大きな行事が続きます。こうした大きな行事は子どもたちにとって大きな成長 のステップとなります。得意なことをより一層高めること、苦手なことにも挑戦 すること、継続して取り組むこと、見通しや計画をたてること、仲間と協力 することなど多くの成長 要素を含んでいます。しかし、こうした成長 はなかなか目で見て判断できる力 ではありません。テストや記録のように数値化できないからです。だからこそ「ふりかえり」が大切になってきます。まずは自分自身のふりかえりによって自分自身の変化や成長 を自覚します。次に、仲間や教師などの他者からの評価も大切です。自分自身ではなかなか気づかなかった成長 にも目を向けることができるからです。そして何より大切なふりかえりは「家族」からの愛情 とともに注がれる眼差しであったり、声かけだと思えます。そこで子どもたちは「頑張ってよかった」「やればできる」という自信や希望がうまれ自己肯定感を強めていきます。これは子どもに限ったことではなく私 たち大人も同様です。数字や形 ではなかなか現れてこない子どもたちの日々の成長 を、できるだけアンテナ高くして気づき、その成長 を、ふりかえりとして子どもたちに伝えていくことができれば、きっと意欲を絶やさず挑戦 していくことのできる力 になるのではないのでしょうか。中盤 から年度末に向かう今、一つひとつの場面をしっかりと見つめ、「ふりかえり」から新たな学びの意欲に繋がる学習 活動に取り組んでいきたいと思えます。

こうちよう むら ち あき ひこ
校長 村 地 昭 彦



64.9%

道路交通法第63条の11 第1項

自転車の運転者は乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない

皆さんもご承知のとおり、自転車に乗車時は、子どもも大人も「ヘルメットの着用」が努力義務となつてしばらくがたちます。しかしながら街中を見ても未だにヘルメット未着用者の自転車を数多く見ることがあります。努力義務であることから罰金等の罰則は科されていません。しかし、自転車の死亡事故のうち64.9%が頭部の致命傷であるというデータもあることから着用の必要性を強く感じるところです。

本校の児童の多くはヘルメットを着用して自転車に乗っていますが、全員ではありません。助かるはずの命がヘルメットを着用していなかったことで奪われてしまうことは何としても避けたいものです。ヘルメットがあるなら着用の声かけを。未所持の場合は早めの購入をお願いします。

